

「パーキンソン病と脳・神経の病気について知るセミナー」が 仙台で開催されました



2019年2月17日、仙台市で神経内科フォーラムとアッヴィ合同会社の共催、日本神経学会の後援により、「パーキンソン病と脳・神経の病気について知るセミナー in 仙台」が開催されました。同セミナーでは、パーキンソン病の治療や研究の第一線で活躍されている、宇川義一先生(福島県立医科大学神経再生医療学講座教授)、馬場徹先生(国立病院機構仙台西多賀病院脳神経内科医長)、武田篤先生(国立病院機構仙台西多賀病院院長)の講演に続き、武田先生とシンガーソングライターの樋口了一さんによる「病気になってもあきらめない、意欲を失わない生き方」と題したトークショーが行われ、最後は樋口さんのミニコンサートで締めくくられました。

先生方の講演では、宇川先生からは「難病と指定されている病気は330種類あるがそのうちの約130の病気は脳神経内科が診ている」などと紹介されました。馬場先生からは、パーキンソン病の診断に用いられる検査などの紹介がありました。武田先生からは、お薬による治療とあわせて運動も重要であるというお話がありました。

また、2019年6月に京都で開かれる、第5回世界パーキンソン病学会(WPC)への参加呼びかけも行われました。WPCは医療関係者だけでなく、患者さんも参加できる学会です。

脳神経内科とは

福島県立医科大学 神経再生医療学講座 宇川 義一 教授



パーキンソン病の診断方法について

独立行政法人 国立病院機構 仙台西多賀病院 脳神経内科 馬場 徹 医長



パーキンソン病の薬物治療と最新治療について

独立行政法人 国立病院機構 仙台西多賀病院 武田 篤 院長



トークショー

「病気になってもあきらめない、意欲を失わない生き方」

武田 篤 院長 × シンガーソングライター 樋口 了一 さん

